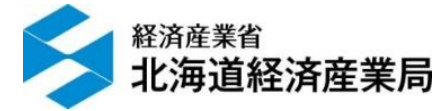


# News Release



## マルマル 『アトツギ ○○ Hokkaido』 ～地域を背負う企業を、背負う。～

2024年9月24日  
経済産業省 北海道経済産業局

(本発表資料のお問い合わせ先)  
経済産業省 北海道経済産業局  
産業部 経営支援課  
担当者：田北 長島 石川 山田 吉川  
電話：011-709-2311(内線2577)  
E-mail：bzl-hok-sogyo@meti.go.jp

# 地域を背負う企業を、 背負う。

地域の課題をチャンスと捉え、生活を楽しくする人たちがいる。  
「なければ、つくればいい」と新しい場所をつくる若者がいる。

アトツギとは、会社や事業を継ぐだけでなく、  
自分たちが住む地域の未来をつくる人のこと。

北海道経済産業局は、アトツギを目指す若者を増やし、  
一緒に未来の北海道をつくる新しいプロジェクトを始めます。

地域に根ざした企業にアトツギが入る。  
想像もしなかった化学反応が次々と起きていく。  
理想を実現できる北海道を、一緒につくろう。

- 北海道は、後継者不在率が全国4番目の高さ※<sup>1</sup>となっている中、国が設置する「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」の相談成約件数は過去最多の状況です。
- 将来的に大幅な人口減少が予測※<sup>2</sup>される**北海道の地域の活力を維持・向上させる**ためには、**後継者**（以下、**アトツギ**）**候補が次々と現れ、地域を背負う経営者に成長することが必要**です。
- 現経営者から見た、事業承継を行う上で苦労したこと、苦労しそうなこと、の1位には「後継者の育成」※<sup>3</sup>が挙げられます。
- 承継済み経営者である、先輩のアトツギ（以下、**メンター**）の声としては、**アトツギが経営者として成長するためには、専門家による支援やメンターによる経験値の共有が重要**※<sup>4</sup>といった内容が聞かれました。
- そこで北海道経済産業局は「**北海道事業承継・引継ぎ支援センター**」※<sup>5</sup>「**北海道よろず支援拠点**」※<sup>6</sup>と共に、既存の経営資源を活用し、新しい取組にチャレンジするアトツギを育成するための仕組みである「**アトツギ〇〇Hokkaido**」の取組を始めます。
- 地域の未来をつくるため、既存の経営資源を活かし新事業展開をするアトツギの成長を支援すると共に、道内にアトツギ支援のムーブメントを起こします。

※1 本資料P17【参考1】参照

※2 本資料P18【参考2】参照

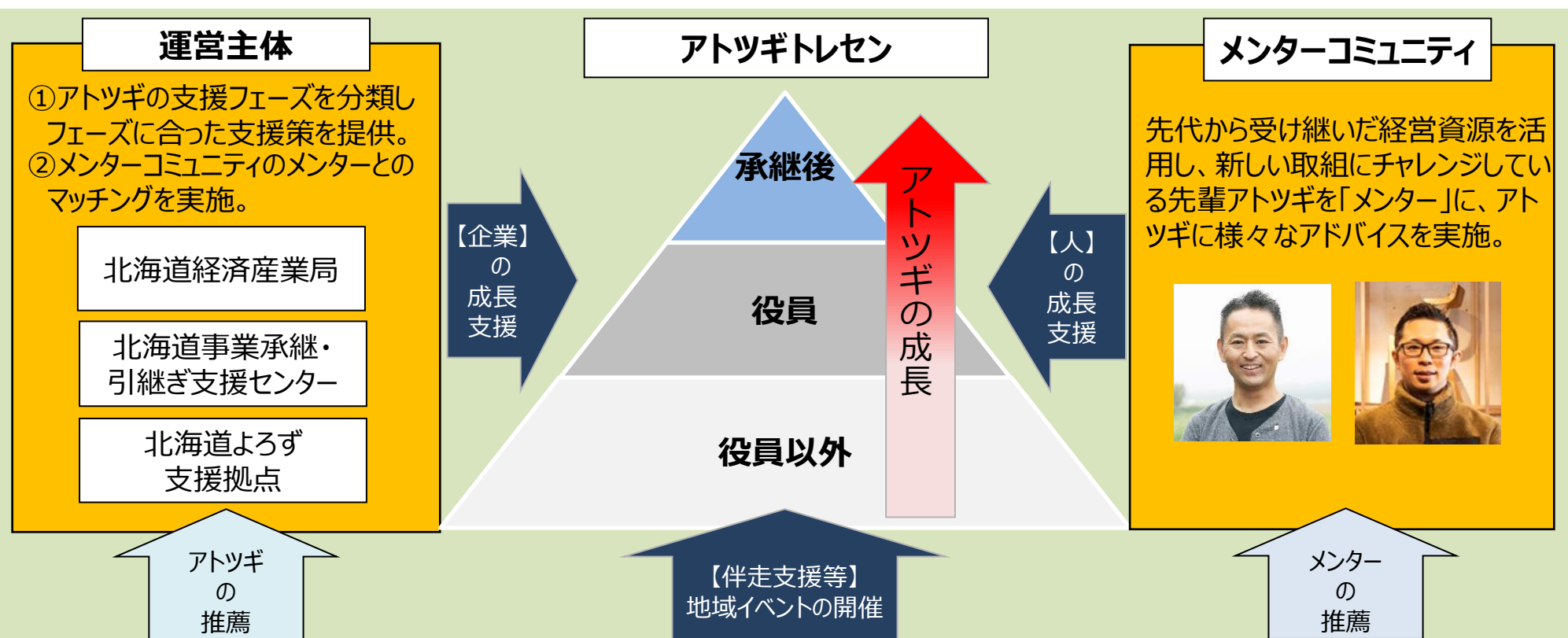
※3 本資料P19【参考3】参照

※4 本資料P20,21【参考4】参照

※5 本資料P22【参考5】参照

※6 本資料P23【参考6】参照

- アトツギ〇〇Hokkaidoは、既存の経営資源を活用し、新しい取組にチャレンジするアトツギを育成する仕組みです。当局などの運営主体は、地域金融機関などの「サポーター」から推薦のあったアトツギを、支援フェーズを分類して「アトツギトレセン」に登録します。アトツギは、運営主体が提供する支援制度を活用すると共に、「メンターコミュニティ」のメンターによるメンタリングや、アトツギ向けのイベントへの参画などにより、経営者としての高みを目指します。



## サポーター（協力機関）

地域でアトツギ支援に取り組む金融機関や公的機関等をサポーターとして連携。アトツギへの伴走支援等を実施。

- アトツギトレセンは、成長意欲の高いアトツギを集めて、自らの意思で成長する環境、意識の高い者同士が互いに刺激となる状況をつくることを目的としています。
- サポーターによる伴走支援や地域イベント開催により、地域に根ざしたアトツギを育成します。

## 【支援内容】

### 北海道経済産業局※7

- ・各種補助金、税制等の制度活用支援
- ・北のアトツギコミュニティ（Facebook）や特設サイト「北のアトツギStory」での情報発信
- ・アトツギイベントの企画

### 北海道事業承継・引継ぎ支援センター

- ・承継に関する全般的な相談や株式譲受等の承継手続支援

### 北海道よろず支援拠点

- ・課題の見える化、販路拡大、生産性向上等の経営課題解決支援
- ・経営者スキルの向上支援

※7 本資料P24【参考7】参照

- アトツギが抱える課題は各人各様です。多くの困難を乗り越え、新たな取り組みを実現してきた先輩アトツギをメンターとして、アドバイスやチャアなどのメンタリングを行う体制を構築します。
- また、サポーターが実施するアトツギイベント等にもご協力いただきます。

## 【メンターリスト】 ※企業名五十音順（敬称略）

環境大善株式会社 代表取締役社長 窪之内 誠（北見市）

桑原電工株式会社 代表取締役社長 桑原 賢史朗（北見市）

サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長CEO 富山 浩樹（札幌市）

株式会社第一寶亭留 代表取締役 布村 英俊（札幌市）

株式会社壺屋総本店 常務取締役 村本 賢亮（旭川市）

株式会社トリパス 代表取締役 杉本 光崇（石狩市）

フュージョン株式会社 代表取締役社長 佐々木 卓也（札幌市）

北海道クリエイティブ株式会社 代表取締役 吉田 聡子（札幌市）

株式会社ミウラ商会 代表取締役 三浦 洋範（美唄市）

株式会社山上木工 代表取締役社長 山上 裕一郎（津別町）

株式会社山ス伊藤商店 取締役 梅木 悠太（月形町）

渡辺組ホールディングス株式会社 代表取締役社長 渡辺 勇喜（遠軽町）

## 【運営主体】

- アトツギトレセンの企画運営
- アトツギの募集及び選定、メンターとのマッチング、各機関支援策の情報提供

北海道経済産業局、北海道事業承継・引継ぎ支援センター、北海道よろず支援拠点

## 【サポーター（協力機関）】※五十音順

- アトツギの発掘、伴走支援、地域でのアトツギイベントの開催、メンターの発掘

### 【金融機関等】

旭川信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、渡島信用金庫、北空知信用金庫、北見信用金庫、釧路信用金庫、空知信用金庫、大地みらい信用金庫、伊達信用金庫、道南うみ街信用金庫、苫小牧信用金庫、(株)日本政策金融公庫、日高信用金庫、北星信用金庫、北門信用金庫、北海道信用金庫、北海道信用保証協会、稚内信用金庫

### 【公的機関等】

浦河町、北見市、釧路市、札幌商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部、美唄商工会議所、北海道経済部中小企業課、(公財)北海道中小企業総合支援センター

## 【メンターコミュニティ】

- メンターコミュニティの構築、運営
- アトツギカンファレンス、アトツギ合宿の企画運営

(一社) ドット道東（北海道経済産業局からの委託）

# 『アトツギトレセン』取組事例

親子のコミュニケーション断絶解消策など、親族内承継における課題解決や、アトツギ自ら立ち上げる新規事業のブラッシュアップをメンターに相談。アトツギの成長を北海道事業承継・引継ぎ支援センターなどの支援機関と共同で支援する。

- アトツギ登録者：(株)水野染工場 取締役 水野里紗さん（旭川市）
- メンター登録者：北海道クリエイティブ(株) 代表取締役 吉田聡子さん（札幌市）

【メンター】北海道クリエイティブ(株) 吉田社長



相談

解決

【アトツギ】(株)水野染工場 水野取締役



経済番組等TVディレクターとしてキャリアをスタートし、20代で父から事業を承継。現在は総合ブランディング・プロモーションプロデューサーとして、企業、自治体、大学、研究機関等の持続的成長と発展を支援している。

父からの事業承継を予定している20代後継者。

第4回アトツギ甲子園 北海道・東北ブロック地方大会進出  
「明治40年創業水野染工場が美瑛町にて、アイヌ文化を復活再現」



9月

★9/27 アトツギキャンプin道南  
(場所：知内温泉 主催：道南うみ街信用金庫)

★：経産局事業   ★：中企庁事業  
★：サポーター実施事業

10月

★10/31 ACT-Meetup 札幌  
(場所：札幌市内 主催：中小企業庁)

★10月下旬 空知・北門・北空知信用金庫共催イベント  
(場所：岩見沢市内 主催：空知信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫)

11月

★11/26 アトツギカンファレンス  
(場所：港まちベース946BANYA 主催：北海道経済産業局)

1月

★日付未定 アトツギ合宿  
(場所：KITAMI BASE 主催：北海道経済産業局)

2月

★2/7 アトツギ甲子園 地方予選大会 (北海道・東北ブロック)  
(場所：ハーネル仙台 主催：中小企業庁)

★2/20 アトツギ甲子園 決勝大会  
(場所：大手町プレイスホール&カンファレンス 主催：中小企業庁)

★2/19～21 次世代経営人材育成支援プログラム2024  
(場所：新ひだか町静内 主催：日高信用金庫、(独)中小機構北海道本部)

3月

★日付未定 アトツギチャレンジ祭 (仮称)  
(場所：札幌市内 主催：北海道経済産業局)

## アトツギキャンプin道南

主催：道南うみ街信用金庫

日程：2024年9月27日（金）～28日（土）

場所：知内温泉旅館（知内町湯の里284）

開湯800年を誇る道内最古の温泉で、道南では初となるアトツギ同士の交流イベントを開催します。交流を通じて日頃の悩みの共有や情報交換を行います。

### 【参加予定者】

- 参加アトツギ：10名程度
- 先輩アトツギ：日乃出食品株式会社 代表取締役社長 工藤英洋（七飯町）  
有限会社渋田産業 代表取締役 渋田博文（厚沢部町）
- 支援機関：北海道経済産業局、北海道事業承継・引継ぎ支援センター  
中小企業基盤整備機構、渡島総合振興局、道南うみ街信用金庫

### 【プログラム】

- 先輩アトツギによる経験談の講話
- 支援機関による各種支援制度の説明 ほか

### 【本事業に関するお問い合わせ先】

道南うみ街信用金庫企業支援グループ（担当：藤谷）

TEL：0138-62-1260

E-mail：kigyoud@d-umishin.co.jp

## ACT-meetup札幌

主催：中小企業庁

日程：2024年10月31日（木）16:30～19:30（予定）

場所：HOKKAIDO×Station01（札幌市中央区5条5丁目JR55 SAPPOROビル6F）

地域のアトツギや支援者が集まり、アトツギによる新規事業の立ち上げと、それによる地域革新の可能性を探るイベントです。

### 【参加予定者】

- 登壇者（予定）：XLOCAL 代表取締役 坂本 大典  
サツドラホールディングス株式会社 代表取締役社長 富山 浩樹 ほか
- 来場者イメージ：中小企業の後継者、後継予定者  
アトツギ支援に関心をもつ自治体・金融機関・支援機関 ほか

### 【プログラム】

- アトツギはどう企業変革をするか ほか

【本事業に関するお問い合わせ先】  
第5回「アトツギ甲子園」運営事務局  
E-mail : [info@atotsugi-koshien.go.jp](mailto:info@atotsugi-koshien.go.jp)

## アトツギカンファレンス

主催：北海道経済産業局

日程：2024年11月26日（火）14:00-18:30（予定）

場所：港まちベース946BANYA（釧路市錦町2丁目4 釧路フィッシャーマンズワークスMOO 2F）

アトツギ甲子園出場者の掘り起こしや、メンター・支援機関とのマッチングを目的としたアトツギカンファレンスを開催します。北海道のさまざまなアトツギを招き、テーマごとにディスカッションやピッチのデモンストラーション、ネットワーキングなどを実施します。

### 【参加予定者】

- 登壇者（予定）：環境大善株式会社 代表取締役社長 窪之内 誠（北見市）  
株式会社山上木工 代表取締役社長 山上 裕一郎（津別町）  
などアトツギ13名程度を予定
- 来場者イメージ：承継済経営者、承継予定者、創業予定者、企業経営者など50名程度

### 【プログラム】

- オホーツクミドル～オホーツクを背負うアトツギ～（ほか）

【本事業に関するお問い合わせ先】

一般社団法人ドット道東（担当：中西）

TEL：0157-33-5111

E-mail：info@dotdoto.com

## アトツギ合宿

主催：北海道経済産業局

日程：2025年1月未定

場所：KITAMI BASE（北見市北2条西2丁目8-8）

アトツギ甲子園出場者に向けた支援としてアトツギ合宿を開催します。

### 【参加予定者】

- 対象者：2024年アトツギ甲子園出場予定者

### 【目的・内容】

- アトツギ甲子園出場予定者を一同に介し、講師によるレクチャーやビジネスモデル、ピッチ内容のブラッシュアップを実施し、アトツギ甲子園での上位入賞を目指します。また、アトツギ同士の連携を創出することで、将来的なアトツギ甲子園への出場者の増加や支援体制の構築を目指します。

### 【本事業に関するお問い合わせ先】

一般社団法人ドット道東（担当：中西）

TEL：0157-33-5111

E-mail：info@dotdoto.com

## アトツギ甲子園 地方予選大会（北海道・東北ブロック）

主催：中小企業庁

日程：2025年2月7日（金）

場所：ハーネル仙台（宮城県仙台市青葉区本町2丁目12-7）

## アトツギ甲子園 決勝大会

主催：中小企業庁

日程：2025年2月20日（木）

場所：大手町プレイスホール&カンファレンス（東京都千代田区大手町2丁目3-2）

- 早期の事業承継の促進、地域経済の担い手の育成の観点から後継者が既存の経営資源を活かした事業アイデアを競うピッチイベントです。
- 6ブロックの各地方大会を勝ち抜いた後継者による決勝大会を開催し、最優秀賞受賞者には経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞等を授与します。

### 【参加予定者】

- 出場資格は、39歳以下の中小企業・小規模事業者の後継予定者であることです。

【本事業に関するお問い合わせ先】

第5回「アトツギ甲子園」運営事務局

E-mail : [info@atotsugi-koshien.go.jp](mailto:info@atotsugi-koshien.go.jp)

## 次世代経営人材育成支援プログラム2024（開催予定・詳細調整中）

主催：日高信用金庫・(独)中小企業基盤整備機構北海道本部（中小企業大学校旭川校）

日程：2025年2月19日（水）～2月21日（金）

場所：新ひだか町静内 公民館・コミュニティセンター（遊戯室）

中小企業大学校とのコラボによる次世代経営者向けの育成プログラムです。

### 【参加予定者】

- 当金庫営業エリア内の経営者・後継者、支援機関及び行政機関の職員

### 【目的・内容】

- 次世代の経営者に対して、「会社経営に必要な知識や考え方を学ぶ」機会を提供し、自社の経営を深く考えるきっかけをつくります。
- 参加者同士が強固な関係性を構築し、共に地域経済の発展に寄与できる人材を育成します。
- 今年度は、毎年高評価をいただいている「財務・会計」に絞って実施する。経営者・後継者自身はもちろん、取締役や社内の財務・会計担当者等も参加可能です。

### 【本事業に関するお問い合わせ先】

日高信用金庫 融資部 経営相談課（担当：川合・柴崎）

TEL：0146-22-4113

E-mail：yushi@hidaka-shinkin.jp

## アトツギチャレンジ祭（仮称）

主催：北海道経済産業局ほか

日程：2025年3月未定

場所：札幌市内未定

### 【参加予定者】

- 登壇者（予定）：本社所在地が北海道にある事業者の49歳以下の後継予定者（親族外承継を含む）及び後継者（承継後5年以内）

### 【目的・内容】

- 『アトツギ ○○ Hokkaido』の1つの出口として、出場者を道内アトツギに限定をした、北海道版のアトツギ甲子園『アトツギチャレンジ祭（仮称）』を開催します。
- 出場者となるアトツギは、自身の考えている事業や家業の価値について5分程度のプレゼンを行い、参加者とのコラボレーションを図ります。
- 1位を決めるなどの競争を促す仕組みではなく、参加者同士のコラボレーションを創出する機会とする予定です。

【本事業に関するお問い合わせ先】

北海道経済産業局 経営支援課

TEL：011-756-6718

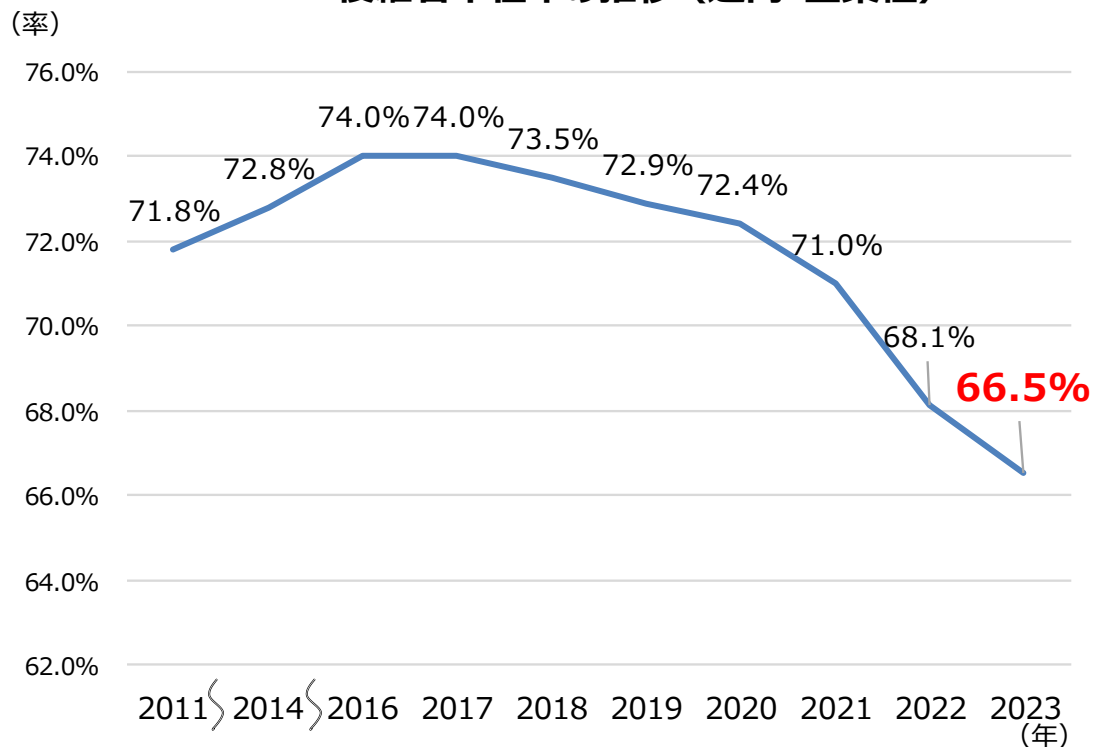
E-mail：bzl-hok-sogyo@meti.go.jp



# 【参考1】北海道における「後継者不在率」

- 北海道における後継者不在率は**66.5%**となり、コロナ前の2019年からは6.4ポイント、2022年の不在率68.1%からも2.6ポイント低下し、**6年連続で不在率が低下（改善）**。
- 一方、都道府県別では鳥取、秋田、島根に次ぐ**ワースト4位**（都道府県別の後継者不在率上位）。

後継者不在率の推移（道内・全業種）

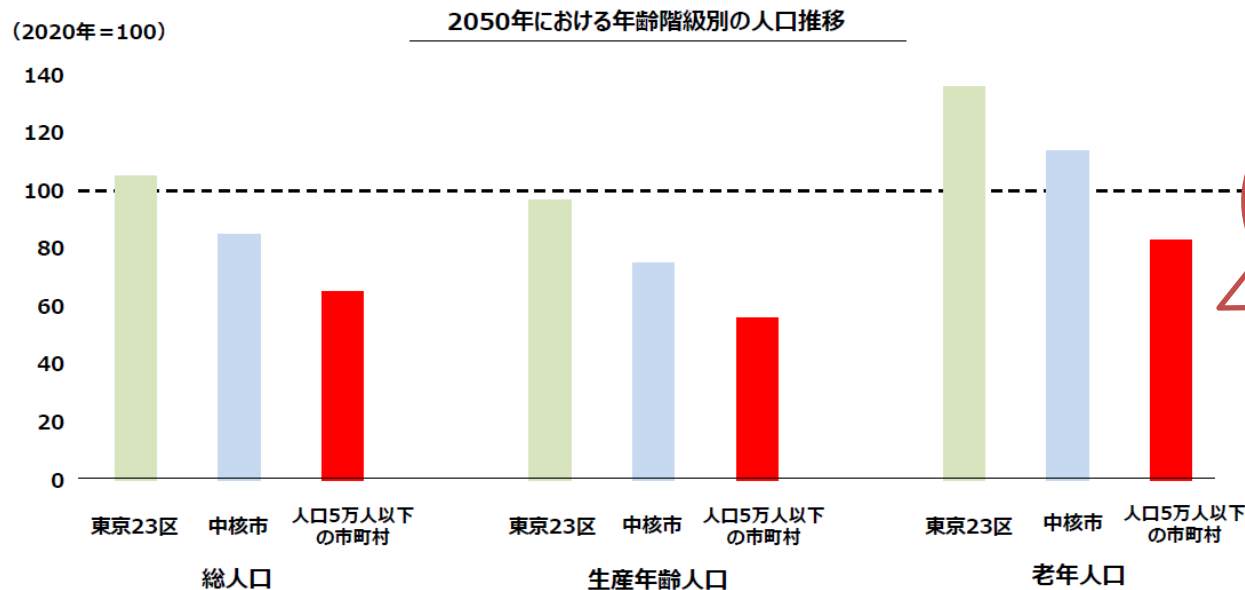


都道府県別		2023年	2022年
後継者不在率上位	1 鳥取県	71.5	71.5
	2 秋田県	70.0	69.9
	3 島根県	69.2	75.1
	4 北海道	66.5	68.1
	5 沖縄県	66.4	67.7
後継者不在率下位	43 鹿児島県	43.8	46.4
	44 佐賀県	43.1	46.8
	45 和歌山県	43.0	46.2
	46 茨城県	42.1	42.7
	47 三重県	30.2	29.4

（出典）特別企画：北海道「後継者不在率」動向調査（2023年）（帝国データバンク札幌支店）

## 【参考2】自治体の人口減少予測とアトツギの持つ可能性

- 北海道の自治体の9割以上を占める人口5万人以下の市町村は、**2050年には、総人口が30%以上、生産年齢人口が40%以上、減少することが予測**されています。
- 地域に存在する事業者にとっては、**総人口の減少による域内需要の減少**に加えて、**生産年齢人口の減少による事業の担い手不足**により、事業を継続する環境が厳しくなることが想定されます。
- しかし、**事業を承継するアトツギが、元から地域にある家業の経営資源を活かして、経営の革新や新事業の開発を行う**ことで、雇用の創出やそれに伴う総人口の増加が期待でき、**地域経済の活性化へとつながる**可能性があります。



道内市町村における  
人口5万人以下の自治体数  
164自治体  
(全179自治体中)  
2024年3月末時点

# 【参考3】事業承継を行う上で苦勞したこと、苦勞しそうなこと

- 事業承継を行う上で苦勞したこと、苦勞しそうなこと、の1位には『後継者の育成』が挙げられます。

## 事業承継を行う上で苦勞したこと、しそうなこと ~各上位10項目~

(96)

苦勞したこと		苦勞しそうなこと		
1	後継者の育成	48.3	1 後継者の育成	55.4
2	相続税・贈与税などの税金対策	31.7	2 後継者の決定	44.8
3	自社株など資産の取扱い	30.5	3 従業員の理解	25.5
4	後継者の決定	28.2	4 事業の将来性や魅力の向上	22.3
5	後継者への権限の移譲	26.4	5 自社株など資産の取扱い	19.6
6	従業員の理解	25.5	6 相続税・贈与税などの税金対策	19.0
7	事業の将来性や魅力の向上	21.8	7 承継前の経営者の個人保証や担保	17.9
8	事業承継に必要な情報の収集・知識の習得	20.4	後継者への権限の移譲	17.9
9	承継前の経営者の個人保証や担保	16.8	9 事業承継に必要な情報の収集・知識の習得	16.1
10	金融機関の理解	16.3	10 承継に必要な資金の確保	15.1

注: 「苦勞したこと」の母数は、事業承継に対して「計画があり、進めている」「すでに事業承継を終えている」と回答した企業3,719社。

「苦勞しそうなこと」の母数は、事業承継に対して「計画はあるが、まだ進めていない」「計画はない」と回答した企業6,709社。

## 【参考4】先輩アトツギ（メンター）の生声



窪之内 誠氏  
株式会社環境大善  
代表取締役社長

環境大善は、私の父が62歳の時に起業した会社です。先代が役員定年後の第二の人生で趣味のようにスタートした会社ですが、順調に事業が成長し、創業13年で私がバトンを受け事業承継することになりました。

先代と私の年齢差は32歳。時代感や危機感などの感じ方のギャップがありすぎて、調整に大変苦労したのを覚えています。特にブランディング、研究開発などの新しい投資に対しての説明、説得には苦心しました。

既存の組織の中で新しい取り組みをスタートさせることがこれほど難しいのかと打ちひしがれたのを覚えています。

そんな時に支えてくれたのが、アトツギ支援策やメンター（先輩アトツギ）の皆さんからの助言です。支援策やイベント参加を通じて、アトツギの仲間達、専門家やメンターの皆さんに具体的なアドバイスをしていただくことで課題を一つ一つ解決することができたと思います。

この経験を通じて、アトツギ支援とメンターの重要性を強く実感しました。アトツギは地域経済の未来を担う存在ですが、社内で孤独な立場の方も多いと思います。

コミュニティを通じて得られる知識や経験は、事業承継者が直面する様々な課題を乗り越えるための大きな力になりうると思います。

## 【参考4】先輩アトツギ（メンター）の生声

アトツギとして事業を継ぐという決断は、単なる職業選択にとどまらず、家族の歴史や地域社会との関わりを継承することでもあります。私は以前、工作機械メーカーに勤めていましたが、2013年末にUターンして家業を継ぐことにしました。

ただ、戻る前の段階では、地元にどのような先輩アトツギがいるのかすら分からず、誰に相談すれば良いかも分からない状況でした。悩みのあまり、インターネットに相談の投稿をしたこともあるほどです。

Uターン後も、これまで勤めてきたスタッフの皆さんとの馴染みには時間がかかり、孤独感を強く感じていました。おまけに父親からも叱られてばかりで途方に暮れていたのを鮮明に記憶しています。

しかし、もしアトツギメンターのコミュニティが存在していれば、同じ経験を持つ先輩たちからの言葉やアドバイスを得ることで、大いに助けられたと思います。

私は幸運にも、周囲に気にかけてくださる先輩経営者が多く、彼らの助言とサポートのおかげで様々な困難を乗り越えることができましたが、当時からこのようなコミュニティが存在していたならば、すぐにでも入会し、助言を受けることができたでしょう。

アトツギメンターのコミュニティは、同じ立場の仲間と共に学び、成長するための貴重な場であり、アトツギたちにとって非常に重要な支えとなると確信しています。

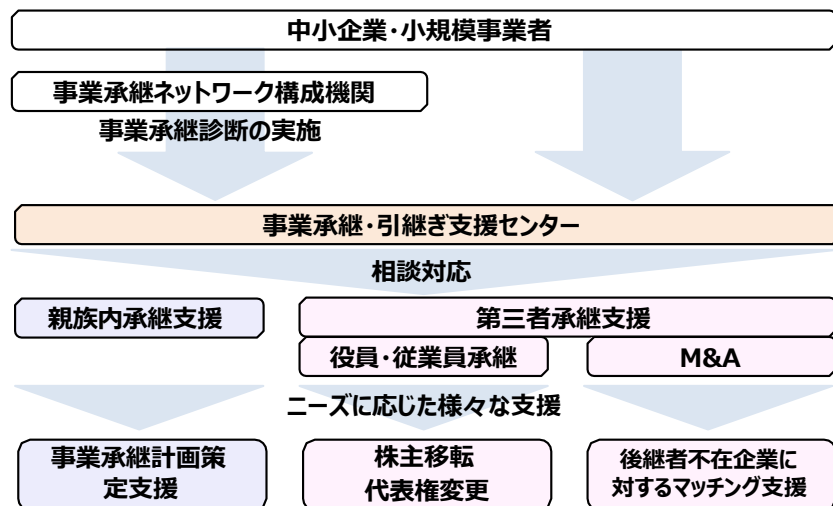


山上 裕一朗 氏  
株式会社山上木工  
代表取締役社長

# 【参考5】北海道事業承継・引継ぎ支援センター

- 事業承継・引継ぎ支援センターは、全国47都道府県に設置する**公的相談窓口**として、**中小企業の事業承継に関するあらゆる相談にワンストップ**で対応。
- 北海道においては、**札幌商工会議所**に運営を委託。札幌本部に加えて、**道内8箇所の商工会議所にサテライト**を設置することで道内全域をカバーしており、**相談・成約件数も増加傾向**。

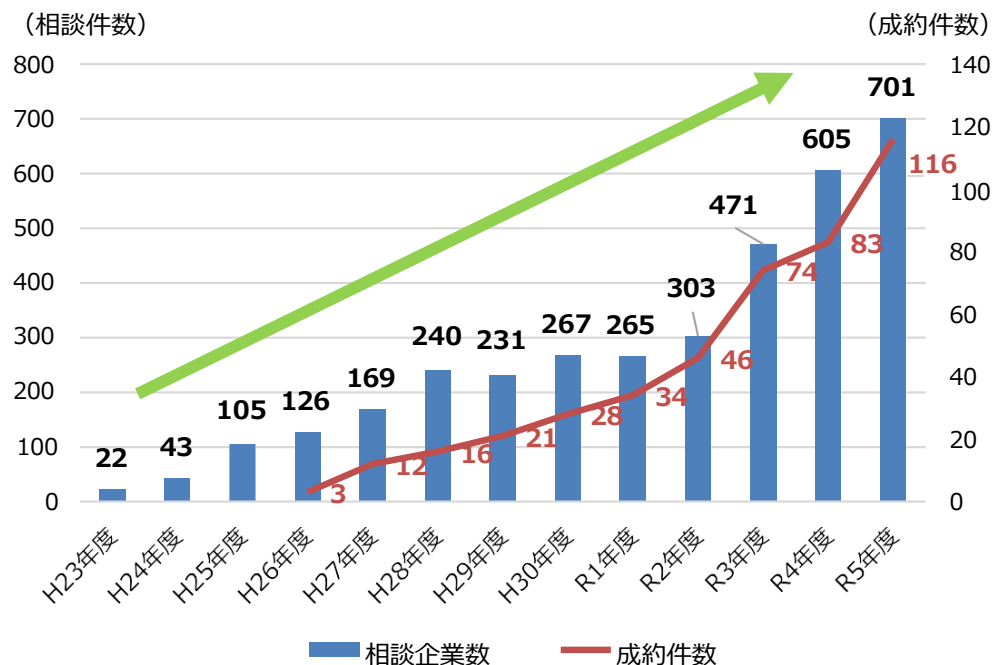
## 支援スキーム



## 北海道事業承継・引継ぎ支援センター 支援体制

札幌本部	小樽サテライト	▶小樽商工会議所	函館サテライト	▶函館商工会議所
	旭川サテライト	▶旭川商工会議所	室蘭サテライト	▶室蘭商工会議所
札幌商工会議所	釧路サテライト	▶釧路商工会議所	帯広サテライト	▶帯広商工会議所
	北見サテライト	▶北見商工会議所	苫小牧サテライト	▶苫小牧商工会議所

## 北海道事業承継・引継ぎ支援センター 実績



# 【参考6】北海道よろず支援拠点

- 中小企業・小規模事業者が抱える経営課題に対応する  
専門家による無料のワンストップ相談窓口として各都道府県に設置。
- 北海道では、札幌本部ほか道内6箇所（函館・帯広・釧路・旭川・北見・室蘭）の拠点で約30名の専門家によって、10年間で累計71,785件の相談対応を実施。



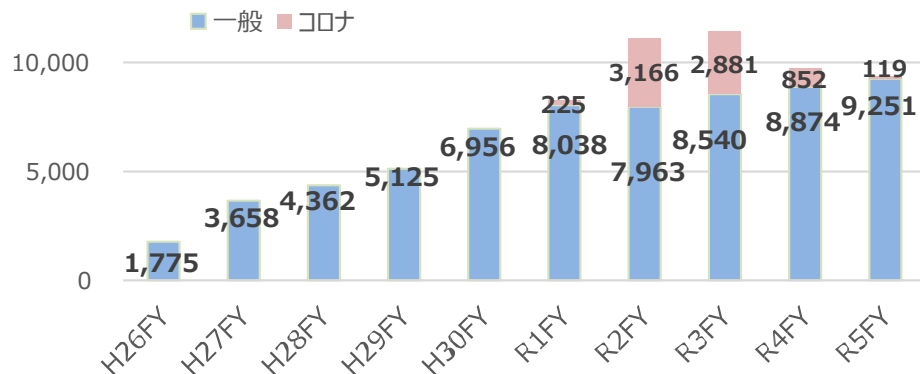
## チーフ 中野 貴英 氏

- 中小企業診断士。
- 銀行の事業調査部で業界調査や企業診断を担当後、平成19年に経営コンサルタント会社を創業。
- 平成26年度より北海道よろず支援拠点CCOに就任。
- これまで支援した企業数は5,000社を超える。

## <無料の経営相談>



## <相談対応件数の推移>



## コーディネーター（約30名）



## 【北のアトツギコミュニティ】

アトツギが学び合い、共に高め合うアトツギに特化したFacebookグループです。

※詳しくはこちら：<https://www.facebook.com/groups/356228476218401/>



## 【道内アトツギにインタビュー！「北のアトツギstory」】

道内で現在活躍中の先輩アトツギたちに当局がインタビューを実施。

アトツギのルーツ、アトツギならではの苦勞、そして新たな挑戦について深掘りしました。

※詳しくはこちら：<https://www.facebook.com/groups/356228476218401/>



## 【アトツギ支援ツール】

アトツギの新たな挑戦を後押しするための施策集を作成しています。

※詳しくはこちら：<https://www.hkd.meti.go.jp/hokik/20240209/index.htm>

